

## まとめ

### 親子で楽しんで記憶力&コミュニケーション力UPにも!

子供がたくさん笑うことで、脳の海馬という部分が活発に働き、記憶力アップにつながります。パパママが笑い返すことで、相乗効果で楽しくなり、コミュニケーション力を養うことができます。

### 教えて!みほ先生!!

#### 「遊び継がれてきた「いないいないばあ」に込められたメッセージ」

「いないいないばあ」をすると、なぜ子どもは喜ぶのでしょうか。それは、いなくなったように見える大好きな人がちゃんとそこにいて、また現れてくれるからです。こうした経験の繰り返しによって子どもは、子どもにとって大好きな人との絆を、さらに強いものにしていきます。まずはおさんと目を合わせ、それから歌うように「いないいないばあ」と言ってみてください。言葉の抑揚と拍感・リズム感によって遊びへの期待が高まり、楽しい気持ちが通じ合います。

昔の人は、「いないいないばあ」が人への信頼や

絆の形成に関わる遊びだということを、経験的に知っていたのでしょう。そして現代の私たちに、子どもに歌いかけて共に遊ぶことが子どもの育ちにとって大切なのだということを、「いないいないばあ」を通して伝えてくれているのです。



本岡美保子 先生

広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科 講師  
前職は、小学校教諭・保育教諭/研究分野は、乳児保育、保育実践、子育て支援/乳児保育、保育実践等に関する研究多数

### 先輩パパママ おすすめの本



ネコやクマなどの動物たちといっしょに「いないいないばあ」遊びが楽しめます。動物たちの笑顔を見ると、子ども親もいつの間にか良い顔になっています。

「いないいないばあ」  
作:松谷みよ子 童心社



いろいろな顔が出てきます。目の部分に穴が開いていて、お面のようにして遊ぶこともできるしけ絵本です。子供は喜んで何度も「よんで!」と言ってきます。

「いないいないばああそび」  
作・絵:きむらゆういち 偕成社

お家での子育てと教育をサポートします/  
子育てのコツなどを見よう!

親子コミ ひろしま

検索



広島県の取組や家庭での過ごし方を掲載!

子育て・家庭教育 広島

検索



いろいろな場面をテーマに遊びや生活の中に遊びがあることをお伝えしていきます。



# 「遊び」は「学び」

「遊び」のなかに「学び」がいっぱい!

遊びながら  
気持ちを通わせて  
いるんだね♪





# 子供にとって 遊びや日々の生活の 全てが学びです!



「遊び」は子供にとって探究の宝庫。遊びの中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、失敗を乗り越えること、人と関わることが、主体的に学び続けることにつながります。



## 「いないいないばあ」にも 「学び」がいっぱい!

生まれて間もない頃

「いないいないばあ」をされても  
反応しないけど…

大好きな人には  
反応するんだね。



周囲の人を  
認識し始める時期  
なんだね

そもそも赤ちゃんは人が好きです。  
近くにいる人の顔、声、におい、動きに注意を向けています。  
大好きな人がする楽しい「いないいないばあ」に同調し、  
いつの間にか反応するようになっていきます。

ポイント



### 愛着の形成につながる「いないいないばあ」

大好きな人と「いないいないばあ」の遊びを繰り返し、  
表情や声の楽しさ、また、隠れては現れる行為の楽しさを共有する事で  
愛着を形成していきます。

### シーン1 いらないいないばあで遊ぶ

「いないいないばあ」をされて大喜び

また出てくるよ。  
ほら!



一緒に楽しめる  
時間が増えたね!



キャッ  
キャッ

いろいろな  
いないいないばあが  
あるのね!

いないいない…

いないね

ばあ!



おおむね

6か月~  
8か月頃

隠れてしまった顔が、また出てくることが  
予測できるようになり、自分の期待通りに  
「ばあ!」と登場することで子供は喜びます。

繰り返しの  
遊びの中で  
学んでいくんだね

### シーン2 自分がいないいないばあをして楽しむ

タオルやカーテンを使って、  
自分なりに楽しんでいないいないばあをする

僕たちの  
反応を見ているよ!

わたし、  
いなくなった!

いないいない…  
ばあ!

喜んであげると  
どんどん遊ぶね!



わあ!  
びっくりした!



どこに  
いるのかな?

消えたら現れる事を  
楽しんでいるんだね!

次はどうなるか  
予想もしているんだね!



感じる・  
気付く  
力

うごく  
力

人と  
かわる  
力

おおむね

9か月~  
2歳頃

ハイハイで移動できるようになると、身近なものを使って  
自分で「いないいないばあ」をするようになります。大人の  
反応を喜んで、どんどん発想するようになっていきます。

大好きな人が  
いる

手で顔がかくれているけど  
そこにいるよね

「ばあ」と手をどけると  
やっぱりいた!

もう1回

感じる・  
気付く  
力

考える  
力

人と  
かわる  
力

楽しい遊びを繰り返すうち  
5つの力が育まれ、  
予測する力、期待する力も  
培われます。